

自己点検及び評価の内容

いばらきどうぶつ専門学校

いばらきどうぶつ専門学校において、教育水準の向上をはかること及び専修学校としての適正な運営、教育活動、教育目標の達成を目的とし自己点検及びその評価を実施する。実施時期、方法、内容については以下の通りとする。

【実施時期及び方法、実施体制、評価方法】

実施時期：毎年3月

実施方法：アンケートによる調査

実施対象：いばらきどうぶつ専門学校 教職員及び事務職員全員

実施責任者：校長

評価方法：3段階評価とする。

A：達成または適合している

B：一部達成していない部分があるが、改善の計画、見込みがある

C：未達成、または適合していない

自己点検及び評価

（１）教育の理念・目標

- | | | | |
|--------|-------------------------------|----|--------------|
| 1. 1－1 | 学校の教育理念・目標や育成する人材像が明確となっているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 2. 1－2 | 教育内容が社会のニーズに合致したものとなっているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 3. 1－3 | 理念・目標に基づく教育が行われているか。 | 評価 | <u> A </u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

学校の理念及び目指す方向性を正しく理解するよう今年度は同様勉強会を実施した。教員個々の理解を深め、教育の理念や目標の共通認識を行っていた。

また、HP・パンフレットなど、学生、保護者に学校の紹介ではなく、理念そして将来どのような道があるのか等、明確に示していく必要がある。

（２）学校運営

- | | | | |
|--------|--|----|--------------|
| 4. 2－1 | 理念・教育目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 5. 2－2 | 理念・教育目標及び運営方針が教職員に明示され共有されているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 6. 2－3 | 組織運営や人事・労務、財務管理に関する規定や意志決定システムが整備されているか。 | | |

- | | | |
|---|----|--------------|
| | 評価 | <u> A </u> |
| 7. 2-4 校長、主任教員、教員が専修学校で定められた要件に適合しているか。また、教員の数が適合しているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 8. 2-5 コンプライアンス体制が整備されているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 9. 2-6 業務の効率化が図られているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 10. 2-7 職務分掌と責任が明確にされているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 11. 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | 評価 | <u> B </u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

理念・教育目標に基づき社会情勢なども踏まえた計画を実施した。様々な状況にも臨機応変に対応できるような工夫をし学校運営を行えた。教育活動やその他情報等に関しては HP にて情報公開を行い、パンフレットにも記載を行っている。

(3) 教育活動

- | | | |
|--|----|--------------|
| 12. 3-1 教育理念・目標に沿ったカリキュラムが体系的に編成され、教育目標を達成するための取り組みが適切に行われているか | 評価 | <u> A </u> |
| 13. 3-3 教育内容・方法について教員間で共有されているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 14. 3-4 成績評価や進級、修了の判定基準が明確で、適切に運用されているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 15. 3-5 教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 16. 3-6 学生による授業評価を定期的の実施しているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 17. 3-7 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。 | 評価 | <u> A </u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

動物業界に関連する企業のアドバイスを取り入れた授業を実施し、内容に即した学習時間や科目などのカリキュラムの確保を行った。教員の勉強会は定期的の実施し、教員力の向上に努め、今後、学校の理想とする教育を行うにあたり、更に優秀な教員を確保していくことが重要であると考えている。

(4) 学修成果

- | | | |
|---|----|--------------|
| 18. 4-1 就職率の向上、退学率の低減が図られているか。 | 評価 | <u> B </u> |
| 19. 4-2 卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか | 評価 | <u> A </u> |
| 20. 4-3 学生の希望進路を適切に把握しているか。 | 評価 | <u> A </u> |
| 21. 4-4 学生の卒業後の進路を把握しているか。 | 評価 | <u> A </u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

就職支援に関しては、例年と変わらず就職セミナー、面接指導、マナー教育を実施していたが、就職活動を開始することが遅れた学生もみられた。

更に就職への意識向上を目指し早い段階から積極的に行動するように促していく。進路に悩みのある学生については、担任、教務主任、進路担当、現役のプロとの面談機会を複数設け、いつでも相談できる環境づくりに努力している。

卒業後に即戦力として活躍できる人材を輩出すべく実習中心の教育に注力するほか、卒業後の生徒の離職状況の調査など行い離職理由など情報を取り、在校生の早期離職防止や卒業後のフォロー体制もとれている。

(5) 学生支援

- | | | | | |
|-----|-----|-----------------------------|----|----------|
| 22. | 5-1 | 学生相談に関する体制は整備されているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 23. | 5-2 | 学生の出席状況の管理とフォロー体制が確立されているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 24. | 5-3 | 基本的生活習慣の確立のための取り組みが行われているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 25. | 5-4 | 生徒の安全管理のための取組等が行われているか。 | 評価 | <u>A</u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

欠席が多くなってきた学生の情報は常に共有し、その中でも経済的不安を抱えた学生に関して、特に学費支援の各種のサポートに応じて経済支援を密に実施した。

(6) 教育環境

- | | | | | |
|-----|-----|--|----|----------|
| 26. | 6-1 | 全ての教室は照度、換気が十分に確保され、必要な遮音性が確保されているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 27. | 6-2 | 学校の施設、設備が十分かつ安全に整備されているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 28. | 6-3 | 教材は教育目標及び学生の学習に対して適切であるか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 29. | 6-4 | 学校内外の実習施設、インターンシップの場などについて十分な教育体制を整備しているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 30. | 6-5 | 災に対する体制は整備されているか。 | 評価 | <u>A</u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

新実習施設が完成し、今まで以上に設備の内容が充実し、高く評価された。

(7) 入学者の募集

- | | | | | |
|-----|------|---|----|----------|
| 31. | 7-1 | 学生の受け入れ方針は定まっているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 32. | 7-2 | 受け入れ方針は、理念・教育目標に沿ったものになっているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 33. | 7-3 | 募集計画は定められているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 34. | 7-4 | 入学者の募集は適切に行われているか。その際に学校情報（資格取得・就職状況等Iは正確に伝えられているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 35. | 7-5 | 入学選考基準及び方法が明確化され、適正かつ公平な基準で行われているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 36. | 7-6 | 授業料等は適切か。 | 評価 | <u>A</u> |
| 37. | 7-7 | 適正な定員設定及び在籍者数になっているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 38. | 7-8 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 39. | 7-9 | 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 40. | 7-10 | 進学に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。 | 評価 | <u>B</u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

学生募集の専門教員や教員が連携をとり学生募集に関する対応を行っている。学科選択や将来についてミスマッチが出ないよう専門部署と教員がオープンキャンパスや授業体験・学校説明だけではなくパンフレットやホームページにて行っている。それぞれの学科における教育成果の説明を学校パンフレット、学校見学时に実行している。

(8) 財務

- | | | | | |
|-----|-----|---------------------------|----|----------|
| 41. | 8-1 | 中長期的に財務基盤は安定しているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 42. | 8-2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 43. | 8-3 | 財務について会計監査は適切に行われているか。 | 評価 | <u>A</u> |

【現状・具体的な取り組み／課題】

財務基盤は健全であると言える。収支予算計画が妥当に執行されている。
財務については顧問の公認会計士の指導を受けながら、適切に会計監査を行っている。

(9) 法令遵守

- | | | | | |
|-----|-----|---------------------------------|----|----------|
| 44. | 9-1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営を行っているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 45. | 9-2 | 個人情報保護の対策がとられているか。 | 評価 | <u>A</u> |
| 46. | 9-3 | 自己点検・自己評価の実施と公開及び問題点の改善に努めているか。 | 評価 | <u>A</u> |

47. 9-4 関係省庁への定期報告を遅滞なく実施しているか。

評価 A

【現状・具体的な取り組み／課題】

法令及び設置基準に対して適正に運営している。個人情報保護は教職員への啓蒙も含めて、厳格に行っている。

(10) 安全・危機管理

48. 10-1 防災用品が備蓄されているか。

評価 A

49. 10-2 災害や緊急時における措置、体制が整備されているか。

評価 A

50. 10-3 災害時の避難経路、方法、場所が定められているか。

評価 A

51. 10-4 災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか。

評価 A

52. 10-5 感染症発生時の措置が定められているか。

評価 A

【現状・具体的な取り組み／課題】

防災に関する体制は日常からの確に機能できるよう準備し、防火管理者のもと防火組織を作成している。

(11) 地域住民との交流及び地域貢献・社会貢献

53. 11-1 地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握、対応が適切に行われているか。

評価 A

54. 11-2 地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源が活用されているか。

評価 A

55. 11-3 学校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

評価 A

56. 11-4 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。

評価 A

【現状・具体的な取り組み／課題】

学生の技術向上や将来のため積極的に地域のイベントや活動に参加している。今後に関しても、生徒の健康管理及び社会情勢を踏まえ、臨機応変に対応をする。